

頼成人物誌 其の三
戦後初の県議会で議長を務めた

武部 毅吉 氏



武部毅吉氏は明治十五年七月五日冉之(ぜん)の氏の長男として生まれられました。明治三十六年早稲田大学法学部に入學、三十七年法政大学経済学部を修了されたあと、明治四十年米国に渡り、新聞・雑誌などの出版経営のかたわら養鶏の技を修められました。

大正六年米国での十六年間の生活を終え、ふるさと頼成に錦を飾られました。翌年再び渡米し、在米中の富山出身の文人翁久允氏らと親交を深めながら養鶏に関する研鑽を積みまれました。大正八年父冉之が逝去されたため急遽頼成に戻られ本格的に養鶏業に取り組まれました。全国に先駆けて産卵率の高い白色レグホンを米国から輸入すると共に高度の管理技術を導入して大養鶏場を経営されました。また、品種の改良にも努力し全国に優秀な雛を頒布されました。当時、県の指導もあり



白色レグホン

農家の副業として鶏の飼育が急増しました。折しも第一次世界大戦後の好況下で鶏卵が値上がりし、養鶏は農家の副業として重要な地位を占め、富山産の鶏卵は県外へも多く移出されました。

毅吉氏は般若地区においては村会議員や村長を歴任されましたが、昭和六年からは連続四期にわたって県議会議員を務められ、昭和二十年には戦後の民主主義制度のもとで初めて開かれた県議会において議長に就任、戦後の混乱を極める状況の中で県政の運営に重要な役割を果たされました。



この間、昭和十九年には富山県食糧営団理事長に就任され、戦中・戦後の困難な食糧事情の中で、国の強制的な米穀供出要請にも敢然と立ち向かうなど、県民の食糧確保に尽力されました。

こうしたさまざまな業績のほかにも、昭和十三年の太田橋(永久橋)の竣工、県道出町音川線の開通、合口用水事業などの土木事業にも多大の貢献をされました。古老の口伝によれば、昭和初期のころに起きた水飢饉のおり、用水下流の百姓が取水口のある頼成地内に大挙して押し寄せた際、手にあつた猟銃を空に向けて発砲、それに驚いて押し寄せた百姓達が皆退散したと言います。後に其の折のい



きさつを毅吉氏に問うたところ、たまたま猟銃の手入れをしていたら誤って暴発したよと何々大笑しておられた由。氏の人となりを知り知るエピソードの一つです。昭和二十九年一月三十日、七十三年にわたる波瀾万丈の人生を閉じられました。法名は釈毅然。まさに毅然として生き抜かれた生涯でした。

きさつを毅吉氏に問うたところ、たまたま猟銃の手入れをしていたら誤って暴発したよと何々大笑しておられた由。氏の人となりを知り知るエピソードの一つです。昭和二十九年一月三十日、七十三年にわたる波瀾万丈の人生を閉じられました。法名は釈毅然。まさに毅然として生き抜かれた生涯でした。

(資料提供 武部啓子 記事 八田 嵩)

改善センターの清掃奉仕に汗流す

地区内全域



の環境美化デーが行われた八月八日、光寿会役員が般若改善センターの清掃美化奉仕を行いました。



ました。早朝午前六時から、男は外回り女は内回りを担当し、一時間余りで隅々まできれいにしました。お疲れ様でした。

いかるぎ 本 鳩

ほこりをかぶった将棋盤、三十二年前の赤茶けた朝刊、そしてミイラ化した遺体。東京都で先月、都内男性で最高齢の百十一歳とされる加藤宗現さんとみられる遺体が発見されました。それに先立って都内で最高齢とされていた百十三歳の女性が実は五十年前に死亡していたにもかかわらず、其の女性の受給していた夫の遺族扶助料数千万円を都が支給し続けていたことも明らかになりました。それがきっかけで全国の自治体であらためて調査したところ百歳以上で生死や所在の不明な高齢者のいることが続々と分かってきました。死亡届を出さなかった遺族の責任もさることながら、都内最高齢と思われる人の現状を全く把握していないという行政の怠慢も責められるべきでしょう。砺波市にも高齢介護課という部署がありますが、他の自治体のこのような出来事を「他山の石」として、机上の策を講ずるだけでなく、生きている人間そのものを見て仕事をして欲しいものです。



四方山話に花

らんじょ浮世亭だより

8月18日のらんじょ浮世亭は、大画面ビデオシアター「世界の光 親鸞聖人」の第五部を鑑賞しました。親鸞聖人が、京に戻られたあとの関東、念仏無限と激しく真宗を誹謗する日蓮の出現と、親鸞の長子善鸞の誤った布教活動によって、真宗門徒の中に激しい動揺が起きる様子や、真の教えを確かめたいと聖人のいる京都に命がけの旅をする門徒達の姿が描かれています。真宗が世の中に認められるようになるまでの苦難の様子がよく分かりました。

午後は恒例の仏説阿弥陀經読誦のあと、蓮如上人のお文の書写第五回として、御正忌の章の前半を書写しました。

今回は9月15日（水曜日）です

「親鸞聖人」第六部 聖人の生涯を描いた全六巻の完結編を上映します。この第六部では未だよく知られていない親鸞聖人の晩年を、長子との義別、弟子の離反などの悲痛極まるシーンを軸にしながら、アニメとは思えない真に迫った表現で映し出します。波乱に富んだ人生を逞しく生き抜いた親鸞聖人九十年の生涯は、これからの高齢化社会において生きる私たちに、人生を生き抜くための大きな示唆を与えてくれます。この巻だけご覧になっても聖人の生き様がよく分かります。日頃浮世亭にお見えでない方も、時間があればぜひお出でください。 10時～11時半

今度は「特定高齢者」

配慮欠くとして見直しへ

「特定高齢者」？ どんな高齢者のことでしょうか。この言葉からは全く分かりません。

実は高齢者が毎年受けている健診とあわせて実施される生活機能評価で、現在は介護制度の適用は受けていないけれど、要支援及び要介護状態になる恐れがあると認定された高齢者を指

季節のうた 秋彼岸瓦のひかる散居村

扶坂東外江句集「柿の花」より



す言葉です。先に「後期高齢者」というお役所用語が悪評で「長寿」に変更されましたが、今回この「特定高齢者」という言葉についても「印象が悪い」「分かりにくい」などの声が多く、長妻厚生労働大臣が見直しを指示しました。

代わりとして浮上しているのが「健康づくり高齢者」「元気向上高齢者」など。厚生労働省では、省内で考えるだけでなく市町村にも提案してもらおうと、ふさわしい名称を考えるよう求める通知を八月六日付で全国の各自治体に出しました。

ちなみに、特定高齢者に認定されると、地域包括支援センター（庄東センターに併設）を窓口、市区町村が実施する運動機能の向上や閉じこもり予防、口腔機能の向上など各種の「介護予防プログラム」を受けることができます。

秋の交通安全運動

九月二十一日から十日間

今年も秋の交通安全運動が九月二十一日から十日間にわたって行われます。



標の第一番目に掲げられています。具体的には

- も高齢者の交通事故防止が重点目



スタントマンの演技による交通安全教室

○ 横断禁止の道路は渡らない！
横断禁止場所を渡るのは危険です。渋滞などで停止中の車両の直前・直後の横断もやめましょう。

○ 自転車で路地から飛び出さない！ 一時停止標識のある場所や見通しの悪い交差点では、必ず停止して左右の安全を確認しましょう。

地元こんなうまい水

砺波の地下水全国ブランドに



コカコーラが砺波の地下水を汲み上げ、その場でボトルリングする「採

水地パック製法」で作られた天然水のボトルが静かなブームとなっています。発売開始は意外と早く一九九九年、中国山脈の大山山麓で採水したものの、山梨県の白州町で採水したものと共に「森の水だより」という商品名で三種がほぼ同時期に売り出されました。

水源地の森に降った雨や雪が大地に浸透し、天然の地層にゆっくりと濾過され



天然のミネラル成分を含んだおいしさが高く評価されて、広く愛飲されているそうです。

9月行事予定

1日	定例役員会
15日	らんじょ浮世亭
17日	光寿会ベタンク大会
20日	敬老会
26日	般老連ベタンク大会

予告案内

☆ 九月十七日（金曜日）
光寿会ベタンク大会
☆ 十月二十一日（木）
光寿会秋の一泊旅行
（二十三日（金））